

12月 モニターレポート		担当出張所	山崎出張所
担当区間	大阪京都府境（阪急大山崎駅付近）～桂川羽束師橋（淀川右岸35.4～38.8、桂川左右岸0～5.4km）		
モニター実施日時	令和元年12月21日（土）11時30分頃～13時30分		
天候	晴れ		

（見出し）

ダイハツ工業横の土手を通った後、天王山大橋を渡り、桂側左岸を宮前橋までモニターした後、宮前橋を渡り、桂川右岸を天王山大橋淀川河川公園大山崎手前までモニターしました。そのため、右岸に関しましては、上流から下流に向けてのモニターとなっています。

施設など（看板）の損傷、ごみの投棄などについて報告します。

（内容）

＜淀川河川公園大山崎付近土手（右岸）＞

- ・淀川河川公園大山崎は、今回も多くの人たちが利用されていました。
- ・堤防敷を天王山大橋に向かってモニターしました。ごみ一つ落ちてなく、とても気持ちよかったです。



＜天王山大橋から宮前橋まで（左岸）＞

- ・堤防敷を宮前橋方面に向かってモニターしました。ウォーキング、ジョギング、サイクリングなど、たくさんの方が利用されていました。
- ・この区域もごみが落ちておらず、気持ちよかったです。
- ・対岸の淀川河川敷大山崎公園グラウンドでは、少年野球の子ども達が、練習をしていました。



- ・ 同じ場所にあった表示板3つのうち、河川法許可表示板が少し見えにくいと思いました。



- ・ 高水敷に降りれる道があったので、少し降りてみて、堤防敷を見上げたり、桂川を見てみました。



- ・ 堤防敷に戻り、引き続き、宮前橋方面に向かってモニターしました。この区域もごみが落ちておらず、気持ちよかったです。



13yam 須賀モニター【淀川及び桂川】

- ・宮前橋の手前に宮前橋の車道を横切らなくていいよう、高水敷に降りる道があり、スピードを落とさな
いま多くの人達が利用していました。上から見ると、少々危険な気がしましたので、確認のため、利
用していないタイミングで降りてみました。急な傾斜・カーブの上いきなり道幅がかなり狭くなってお
り、道路の文字も消えかかっているので、自転車の衝突等の事故が起こらなければいいのと思いまし
た。



- ・宮前橋を過ぎたところで堤防敷に上がり、宮前橋を渡りました。



- ・宮前橋では、凍結防止袋を置いて下さっているにもかかわらず、踏んだ跡があり、袋が破れていて残念な気持ちになりました。

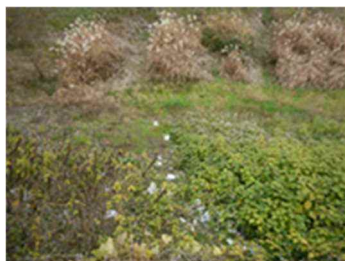


- ・鴨が仲良く泳いでいました。



<宮前橋から（右岸）>

- ・右岸はごみだらけでした。いたるところにごみが落ちていました。（白く見えているのはごみです。）



- ・ 標識の看板や道路の仕切り棒が損傷していました。スピードを出している車が多いので、危険だと感じました。



- ・ ゴミ捨て禁止と表示されているところに一番ごみがたくさん捨ててあり、残念に思いました。



- ・ 特定猟具使用禁止区域では鳥たちのさえずりが聞こえてきました。目をこらして見ると、木々の中で鳥たちが木から木へ飛び移っている姿が見えて、さわやかな気分になりました。



- ・ ミラーが傾いて道路の仕切り棒が損傷していました。



・区域外になりますが、桂川に流れていく小畑川で、鳥達が仲良く泳いでいました。今日は、鳥達に癒されました。



(意見・感想・処置等)

今月もモニターいただき、ありがとうございます。早いものでもう師走ですね。写真からもどことなく冬を感じる感じがうかがえます。なかでも、寒さを吹き飛ばすような野球少年たちの勇姿にはいつも励まされます。

今回のモニター箇所、ゴミ捨て禁止看板を設置しているにもかかわらず、一部の心ない方の投棄があることは残念ですが、国土交通省でも、引き続き日々の河川パトロールにてゴミの回収等を行うよう努めたいと思います。

さて、天王山大橋から宮前橋付近の看板が見えづらいとのご指摘ですが、こちらは国土交通省から占用許可を受けた占有者が設置した看板のため、占有者に対して看板を更新するよう伝えておきます。

また、宮前橋付近の急傾斜やカーブのある道路についてですが、たしかに道路上の文字も消えかけていて見えづらいですね。歩行者の方もいる中で、自転車の方が勢いに任せて走行されているとしたら、おっしやるとおり衝突事故等に繋がる恐れがあり、大変危険です。河川利用者ひとりひとりのマナーに委ねるところが大きいのですが、当事務所では、沿川自治体の職員や占有者等の関係機関が連携して、河川利用者に淀川の利用ルールを説明し、チラシを入れたティッシュを配布するマナーアップ活動を実施しています。

道路標識やミラーが傾いていることは当方でも把握しており、占有者には連絡済みです。また、損傷の木柵についても、順次修繕を予定しています。

末尾となりますが、今回のモニターが今年最後のレポートでした。年明けは寒さが一層増して外出の足元が遠のきがちと思われますが、また鴨や白鷺たちとも会えるかもしれませんので、どうかシャッターチャンスをお見逃しなく。それではまた来月もレポートをお待ちしています。引き続き、来年もよろしく願いいたします。